



CITY WATCHING



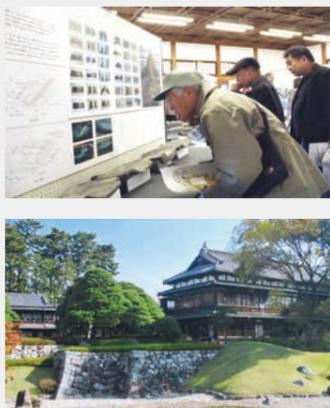
駅前で冬の夜楽しんで

コーエィと前橋駅前通り商交会、前橋エキータ、本市が協力して、JR前橋駅北口前のイルミネーションを実施中です。使われた電球は合計3万球。道行く人は足を止め、写真を撮って楽しんでいました。イルミネーションは1月14日(月)まで実施しています。



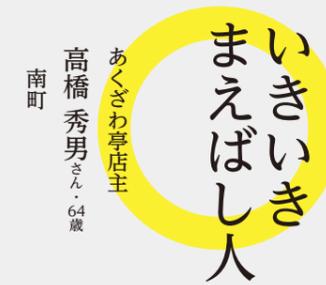
重要文化財の未来語る

11月25日に臨江閣で国重要文化財への指定を記念したシンポジウムを開催。歴史的建造物である臨江閣の保存や活用を考えました。また、同時開催の企画展では臨江閣の建築の秘密が分かるパネルや瓦などを展示。臨江閣の歴史的価値を再確認する催しとなりました。



夢発表して新たな一歩

11月23日、臨江閣で若者の夢を後押しするイベント「My Dream Award in Maebashi」を開催。予選を勝ち抜いた5組8人が自身の夢を発表しました。最優秀賞はジェンダー問題などについてプレゼンした中央中等教育校4年小坂橋知純さんが受賞しました。



思い出と一緒に味わって

「あの味の作り方は誰一人分らない。失敗を重ねて、いろんな人からアドバイスをもらって、なんとか形にすることができたと思います」
あくざわ亭の開店直後から、思い出の味を求める人でにぎわった。ピーク時には店内に入れぬ客も。夜も営業してほしいとの声を受け、現在は土曜のみ20時まで営業している。

「あくざわの焼きそばが自分にとって思い出の味になったように、今の人たちにしても、この焼きそばが思い出の味になったらいいですね」
みんなの記憶に残る味を目指して、高橋さんの挑戦はこれからも続く。



私がいつも残念に思うのは、美術・図工の授業や教員が減っていることです。子どもの頃、勉強ばかりではなく、自分の手を動かしてものを作ったり、他の子どもたちの作品を見て驚いたりするのはとても楽しかったですね。このコラムでも書きました

創造の森から アーツ前橋 館長日記 Vol.5



岡アーツ前橋
☎027-230-1144

「今日の芸術」展では、子どもたちの作品も展示されています。岡本太郎は、子どもの絵、アメリカのお面、ピカソの絵画など、そうした表現と向き合う時に自分の知っている物差しを持ち出してはいけない、と語っていました。もちろん、実際に実践するのは簡単なことではありません。しかし、それが可能になれば私たちは知らない文化や社会をお互いに認め合い、戦争などの不毛な憎み合いをきつと減らせるでしょう。こうした今でも心に響いてくるメッセージがたくさん同展には並んでいます。おりしも55年ぶりに大阪で行われる万博開催が決まったばかりです。ぜひ多くの皆さんに、大阪万博のプロデューサーだった岡本の熱い言葉と作品、そして奥行き深い美術の楽しみと出会っていただきたいです。